

刊夕日一廿月八



定価 一冊五銭一ヶ月 三冊一四銭
廣告料 五銭 十二ヶ月 一元五角
日曜 祭日の翌日 休刊
発行所 東京 常盤町 日新書局
電話 二二七番

子供と讀書 (1)

黒瀬 艶子

秋は燈火親しむの候とか
申しまして、暑熱のあとの
快い落つきと、次第に夜長
となつて來ますために、讀
書といふことがふさはしく
また慕はしいやうに思はれ
ます。こゝにはお子さん方
の讀書についてむしろ指導
の立場にある御両親や兄弟
達がどういふやうに考へた
らよいでせうか、あまりか
たぐるしくならない程度に
心理的考察を基礎にして少
しばかり申上て見たいと思
ひます。

せうから、まづ無害な管で
すがそれでもやはり雑誌營
業となりまれば幾分大衆
を相手にするための「賣ら
んがため」の策もないとは
申されませんが、幼児に買
つて與へるまへに一應は目
を通すだけの注意が必要か
と思ひます。

あまり強烈な色彩をつか
つてあつたり、又はおぼな
しの部分の印刷が不鮮明な
色の取り合せになつてゐた
と云ふこと。

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

【朝】バター トロースト
牛乳 トマト 胡瓜
果物

【晝】煮物—南瓜 小付
葉唐芥子つくた煮
【晩】穴子井—清汁 若芽

幼年時代 昔と違ひまし
て現今ではまだ學齡期にも
達しない子供達のために刊
行される雑誌は實に數多く
なりました。繪本だけの
もありそれにお話をちら
し書きに加へたものもござい
ます。今の子供達は私共の
幼時をふりかへつて見て全
くこの點では恵まれてゐる
と思ひます。——が併しま
たそれだけ指導者の心づか
ひも必要となつて参りませ
う。幼児のために出版され
る繪本雑誌は勿論その編輯
には相當に此の頃の子供の
心理状態に了解のある人々
が親切に執筆してゐるので

りしましたら眼のためには
よくありません。それから
また幼児は幻覺から來る恐
怖にはよるつよい印象をう
けやすいもので、成人はほ
んど意に介せぬことでも
彼等の纖弱な神経にはつよ
く響くものであることを忘
れてはなりません。何がこ
わいかなそれをはつきり口
も出せない、否、口に出す
さへ怖ろしいといふ有様で
す。随つて親が面白がつて
手を叩いて笑つてゐるその
同じ事柄に對して子供は地

獄の責苦に出遇つてゐると
いふやうな場面をよく見受
けます。こどもの繪本は何
處迄もこどもに見せるもの
ですからあまり怪奇な繪な
どあつたら子供に見せるま
へにそこだけそつと切りと
つておくべきで、與へてし
まつてからこゝこゝはみない方
がよいなどといへば尙更み
たくなりませんから。かつて
衛生展覽會につれて行かれ
た幼児が、蠟細工の小兒の
病氣の模型、さては眼珠の
構造など成人にはまことに
興味あるものを見せられま
した。眼をつぶつて母親が
その場所を去るのを待つた
けの餘裕も智慧も出ず、た
ゞ「あつちへ行かう」とせが
んでも「ためになるんだか

木村病院

平町新川町十九
電話一六四番

ら」とのみきゝ入れられず
にしばらくそこにたゞすま
されて、その怖しさはその
夜から子供の安眠を奪つて
發熱のもととなり數日間も
その状態がついて非常に
神經質の子になつてしまつ
た例があります。子供のた
めにかゝれた繪本にしても
特に氣のよわい子供もあり
ますから一應この點の願慮
も大切です。

外科

門 專
科 線 光 X
上田外科醫院
平町南町
電話一二九番

佛壇位牌佛具一式 是非！ 近江屋へ

御日燒けの御手當に就て
海水浴の御日燒け、殘暑の御日燒け等は、御顔の
「美」を一層傷つけるもので御座いますから、其の
際は必ずお手當が必要で御座います。私共の化粧
院は御日燒けには獨特のオゾン理容法によるお手
當を致しまして皆様が御満足のいく限りの御化粧
に努めてをります。
海水浴の御日燒け、或は殘暑の御日燒けの御手當に
は是非水野化粧院迄御立寄下さいませ。
昭和十一年八月

西岸院儀新盆に相當り候へ共時節柄提
灯其他供物等一切御辭退申上度甚た乍
勝手以紙上御通知申上候間悪しからず
御諒承願上げ候
昭和十一年八月
平町南町七三
西丸 政 雄
西丸 辰 治

小口金融開始御案内

最近小口金融ノ御申込ガ増加シテ参リ
マシタノデ此度其業務ヲ開始シ特別ニ
便宜ヲ御計ヒ致シマス
精々御利用願ヒマス 取扱ノ大要ハ左
ノ通りデス
一、金 額 五十圓以上五百圓迄
一、期 限 一ヶ月以内
一、償還方法 月賦拂、或ハ一時拂
一、申込資格 商工業者、俸給生活者
一、區 域 平町及附近
一、條 件 保證人二名、擔保付ハ條件簡易
其他詳細ハ何卒御問合セ下サイ
昭和十一年八月
株式會社 七十七銀行平支店
電話 四一四番

難 波
内科一般
醫學博士 難波 睦
看護婦募集
平町大町新川端
電話 五〇〇二

美容 平 驛 前
結 髮 水野化粧院
主 水野 冬子
電話 六七八番
自宅 平町四軒町水野商店
電話 五二五番

喜多流謠曲と仕舞の
お稽古をお奨め致します
喜多流 謠曲 仕舞 白土會
平町田町六九
電話一二七番
入會隨時

郡下養蠶家よ喜へ

秋繭二割方高値豫想

平均値五圓五十錢臺か

既報四倉繭市場秋蠶取引は来る二十五日より開始するが本年は天候も順調なので昨年の二萬貫に對し二萬八千貫餘の出廻を豫想される相場も昨年の高値四圓六十錢安値三圓五十錢平均四圓六十三錢に對し約二割方の高値で養蠶家は非常な活氣を呈してゐる

天候順調で出廻りも増す

平町長歸町

青沼平町長は既報の如く過般の奇禍で受けた腰部の治療のため鎌生温泉に滞在中であつたが経過良好で本廿一日午後零時四十三分平町に着て多數出迎人に迎へられ歸平した

市制施行

平町では市制施行の準備が整つたので廿一日同日町會議室で市制施行調査會部長會を開き、之が協議事項並に對策に就いて協議同問題の好轉を期すことになつた

交渉協議

平町では土地併合問題に關し、來る廿四日平窪小學校で懇談會開催の通知に接したので本廿一日同日町會議室で市制施行調査會部長會を開き、之が協議事項並に對策に就いて協議同問題の好轉を期すことになつた

旅情を慰さめる

平驛の色紙藝術

魁ける絢爛豪華の飾付

愈々七夕祭明日に迫る

華の紙色く展

平驛では鳴物入りで宣傳してゐる平の七夕祭が愈々明日に迫つたので既記の如く驛舎内及ホールの乗客中にはワザ／＼ホムに降りる者が多い、平驛では七夕當日から廿二日迄の見物人殺倒に準へて常磐磐越兩線の客車増結とガンリンカーの二臺連結運轉で待機してゐるが臨時列車の運轉はないと

町會選舉を控へ

近く名簿を調製

近日平町で申告書配布

平町では明年五月施行される町會議員改選に備へて選舉人名簿は九月十五日現在で作製されるため愈々九月月上旬選舉資格申告用紙を町内各戸に配布異動(轉入、轉出、年月日場所等)を調査してこれが支障皆無を期すことになつたが衆議院、縣會選舉と異なり直接町の選舉資格者に取つて甚大な影響あることゝ、遍なき申告を自發的に希望されてゐる

校で開き縣から迫經濟部長成島技師が臨席終つて懇談會を催す

土地賃賃價格

平町の土地賃賃價格實地調査は來九月中各字に亘り稅務官

郡下大麥收穫高

昨年度町村別調査

平穀物検査所で最近集結した昨年度郡下の大麥收穫高は總作付反別千九百十三町八反から四萬四千六百十石の收穫を挙げ前年より約一割五分の増收を見たがそのうち自家消費を除いた一萬四千二百二十四石が一俵四圓

早くも就職運動

平商で個性調査

同様の成果を挙げんと二期早々各方面に向つて運動を開始する事になり早くも依頼状を印刷すると共にこの下準備として目下擔任教諭が夏休みを利用して卒業生八十四名の性質、表現、技能、趣味、運動、思想、常識、長所、短所等に分けて個性調査をしてゐるが來學期早々職員會を開き一入／＼の性質を詳細に点檢適材適所に斡旋するとの事である

平驛麻雀大會

平鐵道俱樂部麻雀係では來る二十五日午後五時から俱樂部樓上で從業員の選手權大會を開く

銘酒一聲賣出

銘酒榮川發賣以來各方面から好評を博して平田町永山酒店は今二十一日から銘酒灘風の一撃を賣出したが同酒は醸造石數四千餘石然も全量白程度三割以上のオール吟醸で品評會の成績

も昭和二年から引續き全國東北六縣下、山形全縣下等に於て優等賞を獲得貯藏の如きも全部優秀タンクの冷蔵装置だけにその香りと味といひ申分のないもので定めし愛飲家から歡迎されるものと見られる

△新町二二正木貞衛氏二男 亮一さん

△結婚 姻 △好間村大字北好間字松坂 三六高木清一氏(五二)立 町九四松本チセさん(四二)

△相馬郡中村町字清水九五 飯塚勝己氏(三〇)四軒町 一九本田喜美子さん(二二)

平町人壽

△久保町六當時東京市大森 區池上本町二二一ノ一田 卷憲三氏五男恒男さん

△大町二三吉田一選(一九)

亡父應和院儀 新盆に相當り候得共時節柄提灯其他供物一切御辭退申上度甚だ勝手不惡御諒承願上候

平町古鍛冶町一〇 阿康藥局 阿部康雄

青光院儀 新盆に相當り候得共時節柄提灯其他供物一切御辭退申上度甚だ勝手不惡御諒承願上候

平町舊城跡 青沼鋒太郎

芳原院儀 新盆に相當り候得共時節柄提灯其他供物一切御辭退申上度甚だ勝手不惡御諒承願上候

平町土橋 原精一

父大輔儀 新盆に相當り候へ共時節柄提灯其他供物等一切御辭退申上度甚だ勝手不惡御願由上候

昭和十一年舊七月 平古鍛冶町 吹大一郎

雇傭契約書を改竄

モグリ周旋で騙る

寡婦の子澤山に付け込み

前借金まで巧みに着服す

平署の活動

内郷村大字白水三坑下齊藤ヒサさんは當時長野

田から受取つた契約書には十ヶ年百五十圓と

口豊方へ十九日夜九時頃賊忍び入り同家座敷にあつた

手借金庫(現金二十餘圓並に百餘圓積立の貯金通牒

忍び入り同家座敷にあつた手借金庫の盗難頻發に鑑み

改竄され 居るので驚愕問合せた處最初から周旋した遠藤との約束で更に

前借した三十圓は遠藤が五十圓受取つてうち二十圓着服して居ること判明、始め

自稱する 湯本町遠藤

政之助の世話で三女のトヨ子(二)を五ヶ年間百五十圓

の契約で千葉縣都賀村字西寺増田文吉方へ年奉公に

やりの後若境打開し前記長野縣に出稼ぎに出かけた

が最近になつて娘の屋主増

云纏む捜査願や田甫中

白晝狐に騙された様な話

女中家出のナンセンス

平町に怪盗

材木商の御難

中味表抜取る

本町五丁目九一材木商店瀧

電柱に激突して

頭部を粉砕即死

トラック疾走中の奇禍

實直な土工を装ひ

夜間はコソドコ稼業

贓品を賣却中逮捕

速捕二件

土工のコソ泥

また落盤壓死

坑夫横領費消

本田巡查赴任

裁判 一 東

計時

高橋時計店

既報車座となり賭博開張中

ウ・アンド・ピズ・ミニ

明日の部

今日晩の部

今日晩は北東の風

明日は東の風



結る瓦解の謎 (上巻) 悟道軒圓玉 (作) 尾至陽 (書)

二〇三 私に女ですわ
土井伊織は高木伊兵衛の
いふことを聞いてはしばらく
何んの答へもせず考へてゐ
る、伊兵衛の娘おしづは思
ふ男の土井が何んと答へる
かと打ち騒ぐ胸をしづめて
デツと顔を見つめてゐた、
すると土井はにっこり打ち
笑ひ
土「上野の落ち武者をかく
まつてくだすつたその上、
おしづさんの婿にして末は
この身代をゆづるといふあ
なたの思召は身にしみみく
とこたへましてありがた
いことなんです、おしづさ
んの婿にはなれませんが、
伊「それでは不承知かね、
これおしづ泣くな、泣けば
とて叫べばとて土井さんが
お前をさらつてゐては望み
はかなふまい」
土「イヤ御主人、おしづさ
んをさらう譯ではないんで
すよ、婿になれない譯が有
るんですよ」
伊「それではやはり奥州へ
脱走なさる思召か、死ぬま
でも武士の意氣地をしめす
ために徳川様のためにおつ
くしなされるか」
土「さうですね、まあその
ことは後にお話し申します



伊「ウムかねて噂にも聞き
また綿繙にも出た櫻屋のお
花といふはお前さんか、こ
れおしづ、土井様が女では
お前の婿にはなれまい」
しづ「まあびつくりしまし
たわ、女が何うして影義隊
になつて上野で戦ひをなさ
つたの」
土「お轉變な女だとさだめ
しお笑ひなさるでございま
せうが、わたしの親父は公
儀のお臺所役人で徳川様に
は永く御恩をうけたもの、そ
れにわたしはお旗本青木彌
太郎様に一方ならぬお愛顧
をうけ仆れかかつた徳川様
に難題をいひかける薩長の
かたが、が憎いからそれで
しなすつたか、あゝ女にし
ておはかしい、その決心
を聞いた上は商人になれと
すすめるは愚なこと、初一
念を貫くために脱走なさい
榎本様には私からお頼み申
してあなたに軍艦へ乗り込
ませて北海道にお出でにな
ることの出来るやうにしま
せう
おしづもう土井様のことは
あきらめろ、あゝ立派な人
だ、返すくも女にしてお
くはおかしい、とこでお
花さん、イヤ土井様大分傷
も癒えたやうですか明日に
もここを立ち退いて鐵砲洲
にお出でなさい、出入の船
宿に頼んで軍艦に乗り込む
やうにいたしませう、こゝ
にお在なされるは宜いが、こ
のころは一層官軍の手が伸
びた様でございませう、とら
へられてはあなたの思召も
水の泡、一日も早くお立退
きなさい」
とかういつた時にそれへ蒐
け込んで来たのは下男の七兵
衛
七「旦那大變でございま
す三輪の屯所から官軍のかた
が、お出張にならしま
した」
といひをはると同時に聞ゆ
る足音、イヤ伊兵衛はハッ
とおどるさ何うしてこの伊
織をかくしたものとおし
づと顔を見合せてた。

伊「成ほど、さ、ふわけ
でお前さんは上野で戦ひを
かも淺草の奥山で水茶屋を
土「わたしは女ですわ、し
に衣類を着なほして
顔を見合はしたが伊織は徐
に櫻の刺青、それに乳房が大
さい、びつくりして二人は
出してゐた櫻屋のお花とい
ふものですよ」

貴方の御家庭に

お手不足は御座いませんか
本會を御利用下さい
直に家政婦派出します

親切 料金は極めて低廉で
妊産婦の御家庭 お留守 居番
御病人の付添 年寄やお子さんの付添
炊事 や 雑用

派出多忙に付會員至急募集

上原家政婦會
會主 産婆 上原通子

吉田眼科醫院

平紺屋町 電話 六八番
醫學士 吉田久雄

御中元 用品の大賣出し

全店清新なる夏の商品豊富絶好の特價品!!
八月十七日ヨリ... 七日間

- 結 縷 絹 金七十錢 夏セ 絹 金二百八十錢
越後上布 金七十八錢 夏新柄バテマント友備 金七十八錢
ワセツト小紋 金一圓五十錢 一丈モノ 金七十八錢
音曲本染中形 金一圓五十錢 落尺モスミン 金一圓五十錢
歌集 紋 金三圓 東京中形 金九十五錢
網 紋 金三圓 落尺男女向 金一圓五十錢

- 盆踊用に文化手拭と粹な件天發賣
いま流行の日本一手拭と粹な踊り半天下を陳列致して御座居ま
す是非御覽の上御用命下さい
雜貨洋品大廉賣
あらゆる雜貨洋品、タオル箱入、敷布箱入、など贈答品に適
當な御値段の品が豊富に取揃へて御座います
京吳服赤札附特賣
高級な西陣製品を思ひ切つた赤札、是非御覽の上御用命下さい
御贈答に 重寶な 商品券
これが一番

町 平 三井吳服店
電話 三三八番

吸入用酸素純度 99%

モノサシ
マ ス
ハカリ
器量計
体温計
寒暖計

關内藥局

電話 四〇番
寫真材料一才販賣致シマス